

風果てし
先へ



presented by

KIYOMI TANABE



半兵衛様!!

官兵衛どのを
行かせた…?



朱若…君なら
止めてくれる…と

官兵衛様は
有岡城でなく
御着の…小寺主家に
向かわれるから…と



違…う…
御着から
有岡へ…



半兵衛様!!

来るな!!!

ゴホッ



離れなさい
朱若...

君はもう
私の側に
来てはいけない...

兄上!!
早く
ご寢所に...

弟...
久作以外は
入室も
ならん...

14



やはり...やはり
私自身が止めに
行くべきだった...

もはや...
取り返しが
つかない...

ですが...
官兵衛様は...



ほんの何日か前…
みんな笑顔で備前から
帰って来たのに…

すべてが…

突然に
崩れてしまう
ような…



官兵衛様!!!



官兵衛様は
必ずお戻りに
なる…と!

戻らない…
いや…戻れない…
官兵衛どのは
有岡から…もう…

風果てし先へ

タナベキヨミ





小寺官兵衛!!

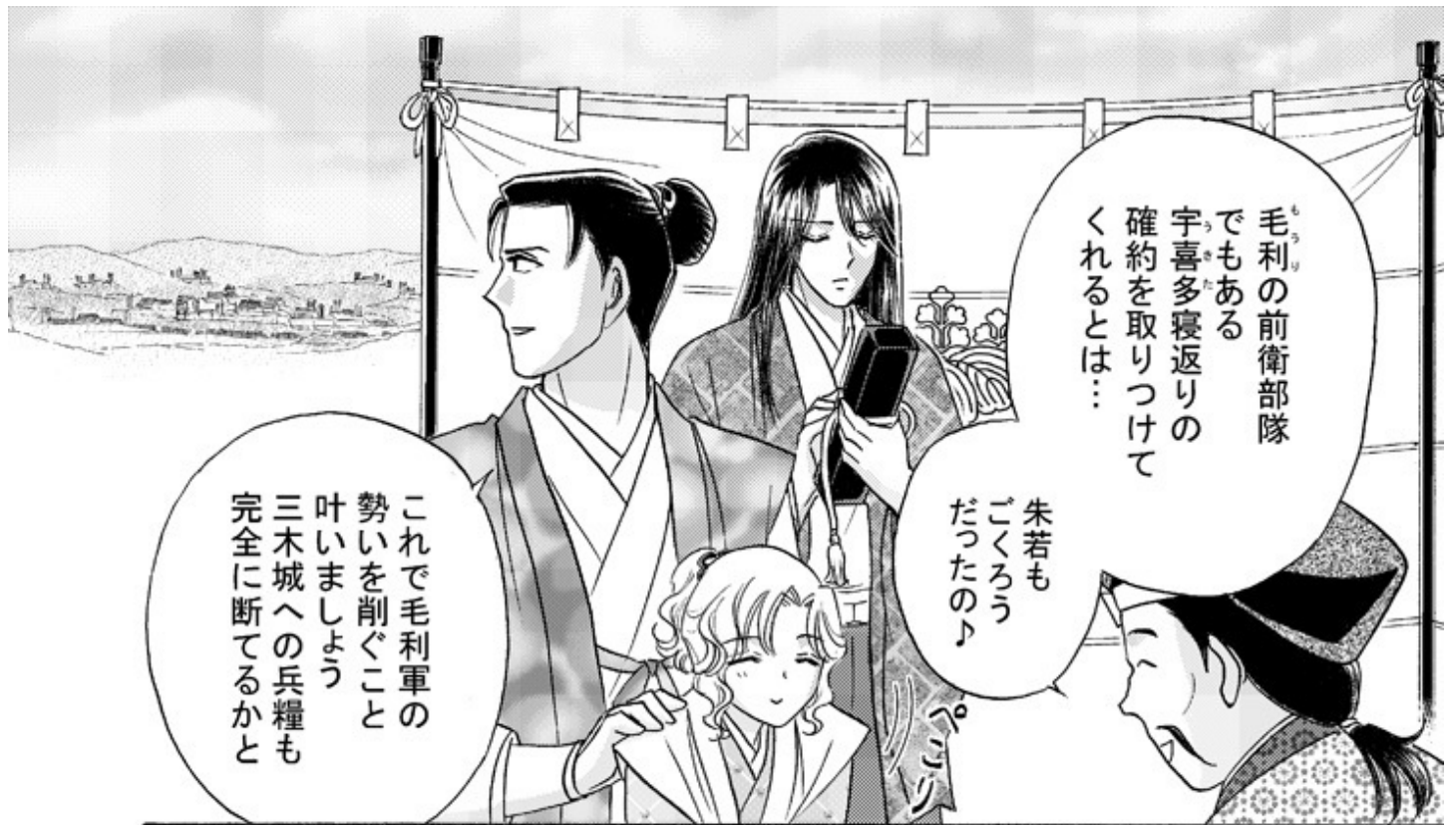
竹中半兵衛!!



わが軍師
二兵衛よ!!

よう
戻った!!!

数日前——
天正六年秋
播磨三木城攻め
羽柴秀吉本陣



毛利の前衛部隊
でもある
宇喜多寝返りの
確約を取りつけて
くれるとは…

朱若も
ごくろう
だったの♪

これで毛利軍の
勢いを削ぐこと
叶いましょう
三木城への兵糧も
完全に断てるかと



昨年よりの織田軍による
中国攻め——いったんは
織田に恭順しながら
毛利に寝返った播磨名門
別所一族がこもる
三木城——

兵糧攻めを始めて半年
毛利からの度重なる
兵糧搬入を
くい止め切れず
膠着状態が続いていた

18



——では
この直家どのからの
条件を安土に…

宇喜多本領安堵の
お墨付だけは
一刻も早く……

——すまんっ
半兵衛!!!



実は…宇喜多の
本領安堵を
確認して良いと申したは
わが一存…

信長様のお許しは
後からいただけばよい…と

なん…と

今さら
そのような…

その後も…

信長様はお許しに
なられなかつた
のですね

上様は
宇喜多は
信用ならん
…と…

本当に
すまんっ!!!

…私も…
気が急くあまり
確認を怠りました



—では…これより
すぐに安土へ…

半兵衛どの!!

半兵衛様!!!

風果てし先へ（7ページまで）

<http://p.booklog.jp/book/72194>

著者：タナベキヨミ

著者プロフィール：<http://p.booklog.jp/users/annzuame55/profile>

序盤のみのプロモ公開ご無礼を…。

よろしければ、個人誌にて続きをご覧くださいませれば♪

<http://tanakiyo.cart.fc2.com/>

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/72194>

ブックログ本棚へ入れる

<http://booklog.jp/item/3/72194>

電子書籍プラットフォーム：ブックログのパブー (<http://p.booklog.jp/>)

運営会社：株式会社ブックログ